

ペスタロッチャー・フレーベル学会 課題研究

関東地区第3回 研究発表会報告

関東地区課題研究の 第三回会合は、次のように行われました。それぞれのレジュメはつぎの如く（添付資料）です。

日時:9月25日（土）PM14:00～17:00

出席者:小田倉、豊泉、湯川、佐久間、岸、中島

場所:中央大学理工学部6号館8階、人文社会教室会議室（6814号室）

14:00-15:25

小田倉泉（埼玉大学）「コルチャックの子どもの権利思想」

15:25-15:40 休息

15:40-17:00

佐久間裕之（玉川大学）「ペーターセンから見た人間教育」

各発表者の発表後、出席者それぞれの立場から質疑がなされ、感想を披歴して終了した。両研究者とも本日の発表が初めてなので、どのように現在の研究を発展させていくかという問題意識から、さまざまな可能性を模索したようである。とくに、現在の研究の視点から「子育て支援」という課題にいかに関与するかという問題は、研究委員全員が抱えている問題であると言ってもいいであろう。現在の段階では、「子育て支援」というテーマは研究の背後に置くこととして、自己の専門分野からの発言を優先させることにした。

次回の研究発表会の予定は、

日時:12月18日（土）PM14:00～17:00

場所:中央大学理工学部6号館8階、人文社会教室会議室（6814号室）

発表者・発表題目

豊泉 精浩「『フレーベルの球体法則における父性と母性』」

岸 信行「フレイベル教育学に見る生命の『若返り』としての『子育て』」

以上